

第41回 清月記 SPECIAL対談 引地瑠美子さんが語る「女性の生き方」

女性による国際的奉仕団体の国際ソロプチミスト仙台クラブ会長や日本ユネスコ連盟副会長として活躍する引地さん。いつも笑顔を決やさず活動する姿に憧れる女性がとても多いと聞きます。



「女性が輝くところに繁栄があります」



菅原 裕典 すがわら・ひろのり
1960年宮城県塩釜市生まれ。83年東北学院大学経済学部経済学科卒業。83年名古屋・中京葬儀社入社。85年3月、父・清一とすがわら葬儀社設立。1991年、(株)すがわら葬儀社の組織変更。2000年エポックせんない設立。2001年より(株)すがわら葬儀社代表取締役。2001年せんない泉工フエム放送取締役。2001年4月より社会福祉法人 無量壽会理事長就任。2010年(株)清月記に社名変更。2011年5月認定NPO法人JETOみやぎ理事長就任。2015年1月仙台市青葉区木町通「仙台迎賓館 斎苑」運営。2015年7月、国際ロータリー第252地区ガバナー就任。2018年6月(一社)宮城骨髄バンク理事長

母の後ろ姿を見て、食への関心と興味を持ちました

菅原 引地さんは、地元仙台のお生まれですね。
引地 仙台市河原町で三姉妹の長女として生まれまし。父が外科医院を開業しておりました。当時は、入院患者さまにお出しする食事を母が作っていた姿を見て育ちましたので、自然と食への関心と興味湧き、それで大学は家政学科へ進みました。

菅原 大学卒業後は。
引地 料理研究家の飯田深雪先生、土井勝先生から料理の指導を受けて、同時に当時、宮城ドレスメーカー女学院が併設していた宮城クッキングスクールで料理法などの講師をしていました。

菅原 ご結婚は。
引地 1974年に結婚して、夫が順天堂大学病院に勤



中高大と10年間通った宮城学院(高校)の修学旅行

務しており、東京で子ども二人を育てました。その後、夫は東北大学病院、公立刈田総合病院勤務を経て、地元である白石に戻って96年に泌尿器科と内科のクリニックを開業しましたので、私は病院の事務や経理にも携わりました。白石に戻ってからは、白石市、蔵王町、七ヶ宿町の母子栄養士として住民

の健康教育に携わってました。私としては地元根ざす、良い経験だったと思います。
菅原 子育てしながら仕事もこなす原動力は、どこから生まれるのですか。
引地 実は私は、あまり大変だったなあと思って思ったことがないのです。子育てでも仕事でも夢中でやってましたし、不思議なことにごに行っても、助けてくれる人が必ず現れるのです。

菅原 男性は外で仕事をするのが精一杯ですから、女性の偉大さがよく分かります。今は昔とは違い、女性にはもっと外に出てもらい、様々な



二人の息子さん(医師)家族との温泉旅行

世界に恩返ししていくことが必要です

菅原 引地さんは、国際ソロプチミストの活動もされていますね。どのような団体なんでしょうか。
引地 地域社会や世界で、女性の人権と地位を高めるための奉仕活動を行っている女性による世界的組織です。ソロプチミストというのは、ラテン語で、「女性に



清月記総本社で
仙台経済界 2019-9-10



引地 瑠美子さん
ひきち・るみこ

●昭和22年(1947年)10月25日、父で医師の三品幾男氏(大正8年生)と母・友子さん(大正13年生)の3姉妹の長女として、仙台市河原町に生まれる。71歳。
●仙台市立南材木小学校から宮城学院中高卒業後、宮城学院女子大学家政学科へ。三品外科で母が入院患者のための給食を作っていた姿を見て興味を持ち、家政学科へ。大学卒業後、料理家の飯田深雪、小野正吉、王馬照純、土井勝、今田美奈子氏に指導を受ける。宮城ドレスメーカー女学院併設宮城クッキングスクールで料理法を教える。
●昭和49年、医師の引地功侃(よしなお)氏との結婚を機に東京へ。2人の男子に恵まれる。平成8年8月、功侃氏が白石市で医療法人白悠会引地泌尿器科・内科クリニックを開業すると同時に理事として、栄養指導や法人の事務、経理に携わっている。東京時代からクリニックを開業するまで、地域栄養士として、白石市、蔵王町、七ヶ宿町の母子栄養指導と住民の健康教育に携わってきた。
●国際ソロプチミスト仙台会長、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟副会長。

ゆっくりと奏でるエピローグ

みおくり邸

みおくり邸 加茂 仙台市泉区加茂1-47-1
みおくり邸 中山 仙台市青葉区中山3-19-1

0800-888-3091
24時間・365日受付(携帯・PHS OK)

https://www.seigetsuki.co.jp/

楽天市場に出店中 RAKUTEN 清月記 検索 清月記グループ

とって最良のもの」が由来となっています。日本のソロプチミストを創設した故・千嘉代子さんが、ふるさとである仙台にも作りたいという思いから、1971年に国内8番目のクラブとして仙台クラブが誕生、現在24人で活動しています。仙台クラブのほか、県内には石巻、気仙沼など7つのクラブがあります。仙台クラブは21年3月に設立50周年を迎えます。

菅原 具体的なほどのような活動を。
引地 女性と女兒への支援、援助活動という視点で、「女性のため教育訓練賞」「女子中高生のためのキャリアサポート」などの援助活動を行っています。その他、社会貢献賞、女性研究者賞、クラブ賞という名称で顕彰、援助しています。

菅原 課題は何ですか。
引地 ソロプチミストは敷居が高いと思ってしまう方が多く、若い方もなかなか入ってこれません。ですから、子育てなどが一段落された50歳代の方に声をかけて、もっともっとPRをしていきたいと思っています。
菅原 多くの国や人々から援助を受けて今の日本になりました。恩返ししていくことが、これからとても大切で必要なことですね。
引地 その通りですね。



ユネスコスクールでの和食研修会で

人間の全ての原動力の源は教育にあると思います
菅原 日本ユネスコ協会連盟の全国副会長の要職にもなられています。
引地 ユネスコの原点は、「平和な世界の実現」です。こちらは、持続可能な開発目



ソロプチミスト仙台が支援している県立こども病院附属のマクドナルドハウスで

標をスローガンに、2030年までに、世界から貧困をなくそう、質の高い教育をみんなに、すべての人に保健と福祉をなど17のゴールに向けて活動しています。ソロプチミストもユネスコどちらも世界的な奉仕活動団体です。
菅原 これからの女性のためにメッセージを。

引地 どの時代、社会、どの国でも、もちろん家庭でも、女性が輝くところに繁栄があります。ですから、お互い個性を生かし、決して人をけなさず、素晴らしいところを見ながら、協力していってほしいと思います。
そして、人間のすべての原動力は教育にあると思っています。奉仕の精神は宮城学院時代に体に染みこみ、自然と湧き出てきます。教育をもっと大切にしたいなと思います。もちろん、私の場合、夫の理解があるからこそ、こうして活動できているのでいつも感謝しています。
菅原 今後もご活躍を期待しております。